

心豊かな子ども 学びを深める子ども 健康な子ども 「今日が楽しく明日が待たれる瑞光小」

瑞光だより 1月号

荒川区立瑞光小学校 校長 渡邊 滋

「人権」の大切さ

校長 渡邊 滋

12月6日（金）に教職員向け研究発表会を実施いたしました。内容は、東京都人権尊重教育推進校としての外部教職員向け発表会です。保護者等の方々の参観は行えない日でしたが、ご報告も兼ねて少しお話をさせていただきます。

まずは、授業についてです。全学級で研究授業を行いました。教科等は、社会科・生活科・総合的な学習の時間、学級活動です。各学年に応じた学習を系統立てた内容で展開させました。人権教育の視点をもって各学年で授業を進行しました。

次に、アトラクションです。6年生児童が本校の代表として、参観で来校して下さったご来賓や教職員に向けて「我が大地の歌」、「ダイナミック琉球」の合唱を披露しました。参観した多くの皆様から、瑞光小の子供たちの立派な歌声にお褒めの言葉をいただきました。

そして、講演会も行いました。講師は昭和大学大学院保健医療学研究科准教授・副島賢和（そえじままさかず）先生です。公立小学校勤務を経て、品川区立清水台小学校さいかち学級担任のご経験のある方です。「さいかち学級」とは、昭和大学病院内にある院内学級であり、入院している児童の学ぶ機会を実現するところです。本校では、院内学級でのご経験を生かして、「自分も相手も大切にすかかわり ～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～」をテーマに教員に向けたご講演をいただきました。入院した子供たちは、治療や自分の身体のこと、将来のことなど、様々な不安を抱えた中で通級してくるようです。そんな子供たちに、副島先生は「徹底的に寄り添う」ことを実践してこられたとのこと。「自分は自分のままでよい」と自尊感情をもてるような指導を長年された経験を伺い、私自身も改めて子供たちと関わる日々の自分の職務を考える機会となりました。なお、副島先生はテレビドラマ「赤鼻のセンセイ」のモチーフとしても知られています。機会があれば、ぜひともご覧になってみてください。

今後も「人権」を大切にすることはもちろんのこと、充実した教育活動を実践するべく教職員一同研鑽を積んで参ります。



～ 今月の生活指導 ～

1月の生活目標は、「規則正しい生活をしましょう」です。

明日から冬休みです。長期休業になると生活リズムが乱れてしまいがちです。一度乱れてしまうと元に戻るは大変です。冬休みの間も早寝早起きをするよう心がけていくよう、お声掛けをお願いします。また、年末年始はお年玉でたくさんのお金をもらう子供が多いと思います。お金をめぐる友達同士のトラブルが起きたり、トラブルに巻き込まれる事件が起きたりしやすい時期です。また、年末の慌ただしさや、暗くなる時間が早いこと等から交通事故が増える傾向にもあります。冬休みを楽しく過ごすために、お金・交通・SNSのルールを守ることと、規則正しい生活について、ご家庭での約束をもう一度お話ししてみてください。

令和6年度1月の行事予定

授業日数18日 給食日数17日			寺子屋	クラブ	委員会	S C
日	曜	行事 ()は学年				
1	水	元日				
2	木					
3	金					
4	土					
5	日					
6	月					
7	火	冬季休業日終				
8	水	【始業式】給食始 4時間授業(全)	×			
9	木	【そ】発育測定(6) 書き初め	□			○
10	金	【読】4時間授業(1) 発育測定(5) 書き初め	△			★
11	土					
12	日					
13	月	成人の日				
14	火	【読】5時間授業(2~4) 委員会(5・6) 歯と口の健康づくり(1・3・5)	○		○	◇
15	水	【心】特別時程 4時間授業(全) 発育測定(4)	×			
16	木	【そ】発育測定(3)	□			○
17	金	【読】発育測定(2)	○			★
18	土	【読】特別時程 授業公開日 道徳授業地区公開講座	×			
19	日					○
20	月	【安】食育週間始 クラブ(4・5・6) 発育測定(1)	○	○		
21	火	【読】図画工作展鑑賞(4)	○			◇
22	水	【読】	×			
23	木	【そ】4時間授業(1) なかよし班活動(全)	□			○
24	金	【児(集会委員)】食育週間終	○			★
25	土					
26	日					
27	月	【朝】 クラブ(4・5・6) 副籍交流(2-3) 学校保健委員会	○	○		
28	火	【読】4時間授業(1) 社会科見学(5)	△			◇
29	水	【心】セーフティ教室(5) 新海先生読み聞かせ(1)	○			
30	木	【そ】新海先生読み聞かせ(2)	□			○
31	金	【朝(持久走)】持久走週間始	○			★

※黄色いマーカー部分が訂正箇所です。

★ 1月の主な予定等 ★

※発行日時点での予定です。変更される可能性があります。

★始業式
3学期始業式は、1月8日(水)です。給食ありの全学年4時間授業となります。

★発育測定
1月は全学年発育測定があります。発育測定の日、体育着を忘れないこと、髪の高い人は身長測定邪魔にならない位置で束ねることに気を付けてください。

★歯と口の健康づくり事業
14日(火)に、歯科校医と歯科衛生士の方をお招きして、歯と口の健康に関する講義を行っていただきます。

★図画工作展鑑賞
15日(水)から日21(火)まで、荒川区小学校図画工作展覧会が開催されます。代表児童の作品が町屋文化センターに展示されます。21日(火)に、4年生が鑑賞に行きます。

★社会科見学(5年)
28日(火)に豊洲市場と科学技術館を見学に行きます。

※特別時程の日の下校時間帯は4時間授業のとき、12時45分~13時00分
3時間授業のとき、11時15分~11時30分となります。

※1月は予告なしの避難訓練を行います。

~月行事予定の見方~			
【朝】 全校朝会	【そ】 そうじ	【児】 児童集会	【オ】 オリパラの時間
【読】 読書	【心】 心のじかん	【体】 体育朝会	【安】 安全指導の時間
寺子屋	放課後の「あらかわ寺子屋」に参加できる日		
	○・・・全学年参加可能	△・・・1年生以外参加可能	□・・・1・2年生以外参加可能
S C	禿 愛子先生の勤務日：◇印	渡邊葉月先生の勤務日：☆印	佐藤智之先生の勤務日：○印

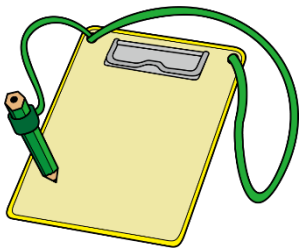
～12月の学校の様子～

社会科見学（3年）

12月13日（金）に、荒川区内を巡る社会科見学に行ってきました。

社会科の学習で、荒川区の土地の高さについて学び、低地が広がっているが、諏訪台は周りに比べて土地が高くなっていることに気付きました。実際に、日暮里駅から諏訪台にある「諏訪神社」まで歩いたことで、だんだんと土地が高くなっていることを実感することができました。諏訪台からの景色を見て、目線の先がビルの7階だったり、電車が下を通っていたりすることに驚いていました。また、スーパー堤防を見学し、水害から暮らしを守る仕組みや工夫について学ぶことができました。

最後は、荒川区の公共施設である「あらかわ遊園」で、班ごとに計画を立て、園内を回りました。観覧車から荒川区内を見渡したり、友達と一緒に乗り物に乗ったり楽しみました。



社会科見学（4年）

12月19日（木）に、「東京臨海部広報展示室 TOKYO ミナトリエ」、「そなエリア東京」、「日本科学未来館」へ社会科見学に行きました。

社会科の学習で自然災害について学習したことから、「そなエリア東京」では、首都直下地震が起きたときに身を守るための行動について学びました。タブレットを使いながら、「東京直下72hツアー」に参加し、倒壊した建物などを再現した街中を通りました。子供たちは、「えー、どうしよう。」「実際に起きたらこわいな。」などと話しながらタブレットに出てくるクイズを解き、避難先まで移動しました。その後も、動画や掲示物、防災リュックなどの「きほんのそなえ」や「一人ひとりのそなえ」などの展示物を通して72時間を生き抜くために必要なことを学びました。

その他の施設でも、ルールを守って見学したり、教室では学べない最先端の科学技術を学んだりすることができました。



研究発表会

12月6日（金）に、研究発表会を行いました。瑞光小学校での人権課題に関する授業実践や日常的な取組について発表しました。

瑞光小学校は、令和5、6年度の東京都教育委員会人権尊重教育推進校としての指定を受け、「自他を大切にできる児童の育成—かかわり合いを通して—」という研究主題のもと、全教育活動を通して人権尊重教育を行い、「自他を大切にできる児童」の育成を目指しています。当日は、全学級でペアやグループでの学習を取り入れた授業や人権課題に関する授業の公開、6年生による「我が大地の歌」と「ダイナミック琉球」の合唱、そして研究発表を行いました。荒川区内だけでなく、地域や校種を超えて、300名近くの方に参観いただき、「児童と教員と、一緒に授業を作り上げている雰囲気よかった。」「授業で人権課題について触れることで、『人権』について児童が身近に感じられている。」「自分や他人の大切さについて考える授業では、児童が自他を尊重しようとする姿勢が感じられた。」等の感想をいただきました。

今後も、全教育活動を通じて、自分も他人も価値ある存在であることを自覚し、互いを尊重し合える学校を目指していきます。



TGG (Tokyo Global Gateway)

12月10日（火）に英語を用いた体験学習を行いました。体験施設では、7～8人グループに分かれて、エージェントと呼ばれる外国人講師の先生と一緒に全ての活動を英語のみで行いました。数ある体験活動の中から、グループごとに「プログラミングを体験しよう」「日本にいながら留学体験」「コマ撮り作品を作ろう」「おもてなし文化を世界に紹介しよう」等のプログラムに参加し、売店やカフェ、薬局など実際の雰囲気が再現された空間で、日常会話にも挑戦しました。行く前は、日本語をいっさい使えないことを不安に思っている様子の児童もいましたが、いざ体験が始まるとエージェントの質問に耳を傾けて一生懸命に会話をしたり、グループの友達と協力しながら一つの目標に向かって活動に取り組んだりすることができました。「楽しかった！」「聞き取れた！」「ジェスチャーの大切さが分かった！」など、嬉しそうに振り返る姿が見られました。日々の授業で学習したことを活かし、楽しみながら英語に触れる貴重な体験となりました。

